令和7年度　こらいと島田　園の自己評価

1:よくできている　2:できている　3:努力が必要　　R7年9月実施

●1:保育の理念・保育観

		1	2	3	4	コメント
Q1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	88%	13%	0%	0%	一人ひとりの存在と人権を尊重し、子どもの気持ちや思いを受け入れていきます。保育者は子どもの育ちに大きく関わってくる重要な役割だと意識をして、責任と愛情を持って保育をしていきます。
Q2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保証することが保育所の重要な使命だと理解していますか。	100%	0%	0%	0%	
Q3	あなたは、「保育所保育指針」を理解したうえで、保育内容や保育方法を考える時のガイドラインとしていますか。	75%	25%	0%	0%	
Q4	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う、きわめて大きな役割を担っていると認識していますか。	100%	0%	0%	0%	
Q5	今日の保育園には、入園している子供の保育だけでなく、広く地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。	75%	25%	0%	0%	

●2:保育の内容

1)保育計画・指導計画

Q1	あなたは、指導計画を作成する時「保育所保育指針」を参考にしていますか。	71%	29%	0%	0%	「保育所保育指針」をテーマとした内部研修を行っています。内容の理解を深め、日々の保育計画、指導計画に取り入れ、保育の向上、充実を目指します。
Q2	あなたは、保育所の方針である保育課程をもとにして、指導計画を作成していますか。	71%	29%	0%	0%	
Q3	保育には、指導計画(年・月・週・日案)の作成というあらかじめ見通しを持った計画性が必要と思いますか。	100%	0%	0%	0%	
Q4	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解したうえで、月・週・日案などを立てていますか。	86%	14%	0%	0%	
Q5	あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしてますか。	100%	0%	0%	0%	

2)乳児保育

Q1	あなたは一人ひとりの子供の出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。	100%	0%	0%	0%	一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、個々の発達状況や家庭環境に合わせた丁寧な保育を目指します。保護者の方と情報を共有していきます。
Q2	離乳食は、家庭と連携を取りながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合わすよう工夫していますか。	71%	29%	0%	0%	
Q3	おむつ交換は「気持ちいいね」などと優しく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。	100%	0%	0%	0%	
Q4	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしくかえしていますか。	100%	0%	0%	0%	
Q5	あなたがどんな状態にあるときにでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。	88%	13%	0%	0%	

3)3歳未満児保育(1.2歳児保育)

Q1	「できない、やって！」と甘えてくる時は、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人一人の発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	100%	0%	0%	0%	個々の状況やその時の状況に合った対応や言葉掛けをしていきます。 心と時間に余裕を持ち、見守ったり待ったりしながら、子ども自身が自らやろうとする気持ちを大切にしていきます。
Q2	あなたは子供の「これなーに？」「どうして？」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度答えようとしていますか。	88%	13%	0%	0%	
Q3	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉がけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	100%	0%	0%	0%	
Q4	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気で食事ができることを第一に考えていますか。	88%	13%	0%	0%	
Q5	子供がおもちゃの取合いなどでぶつかり合う時、危険のないよう配慮しつつ子供の発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守る事ができますか。	88%	13%	0%	0%	

4)行事

Q1	あなたは、「行事」について、その意味を考慮して保育の中に取り込んでいますか。	100%	0%	0%	0%	遊びを通して、楽しみながら行事の意味や意義を感じられるように工夫をします。 今年度は誕生会の保護者参加を行っています。今後も保護者参加型の行事を検討しています。
Q2	「行事」を保育に取り入れるときには、それが子供の健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。	88%	13%	0%	0%	
Q3	保護者が参観する「行事」の時には、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子供のありのままを見てもらう気持ちのゆとりを持っていますか。	88%	13%	0%	0%	
Q4	「行事」に参加することを嫌がる子供には、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。	88%	13%	0%	0%	
Q5	あなたは「行事」が、子供の生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。	88%	13%	0%	0%	

5）延長保育

Q1	長時間にわたる保育を受ける子供には特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気に配慮していますか。	100%	0%	0%	0%	延長保育でも安心できる雰囲気と環境を作ります。 少人数ならではの遊びやコミニケーションを図っていきます。
Q2	次々にお迎えがくる中で「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持ちを受け止めて安定した気持ちで待つことが出来るよう、適切な対応をしていますか。	100%	0%	0%	0%	
Q3	あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか。	86%	14%	0%	0%	
Q4	延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子供同士で遊べるような工夫をしていますか。	86%	14%	0%	0%	

●3：保健活動・安全管理

Q1	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常状的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。	88%	13%	0%	0%	一人ひとりの体調の把握と変化に留意します。 健康状態や怪我は全職員で見守り、対応していきます。 室内外の安全点検を欠かさず、事故防止に努めます。
Q2	あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。	88%	13%	0%	0%	
Q3	あなたは、睡眠中の子供の顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。	86%	14%	0%	0%	
Q4	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、怠らないように意識していますか。	75%	25%	0%	0%	
Q5	そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」や、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。	100%	0%	0%	0%	

●4：保護者・地域社会・関係機関との連携

Q1	園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子供の育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことが出来ますか。	88%	13%	0%	0%	保育者が地域の方々や保護者の方々に積極的な挨拶を心掛けます。 連絡ノートや送迎時にその日の出来事や様子を保護者の方々に報告し、コミュニケーションを図ります。また個別面談を実施し、情報の交換、共有を目指します。
Q2	その日の子供の健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	88%	13%	0%	0%	
Q3	たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞こうとする姿勢がもてますか。	100%	0%	0%	0%	
Q4	散歩や行事などで、子供たちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	88%	13%	0%	0%	
Q5	保育園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。	88%	13%	0%	0%	

●5：保育園の職務・役割分担

Q1	登園を嫌がることが続くなど、問題を感じた時、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策の仕方を相談していますか。	100%	0%	0%	0%	職員間では報連相を徹底し、情報の共有をしていきます。 自分の仕事や役割に責任を持ち、声掛けやサポートをし合い協力します。
Q2	あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。	86%	14%	0%	0%	
Q3	あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。	88%	13%	0%	0%	
Q4	調理士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわる時、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割が何であるか理解していますか。	88%	13%	0%	0%	
Q5	あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって点検・管理していますか。	63%	25%	13%	0%	

●6：保育士としての資質向上

Q1	あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。	75%	25%	0%	0%	園内研修、園外研修共に、積極的に参加し、情報を共有し保育に活かしていきます。 意見を出し合ったり、情報交換しながら知識を深め保育の質の向上を目指します。
Q2	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	88%	13%	0%	0%	
Q3	あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書をみつけて、そこから学ぶことが出来ますか。	88%	13%	0%	0%	
Q4	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べることが出来ますか。	88%	13%	0%	0%	
Q5	あなたは研修で得た内容・成果を園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。	57%	43%	0%	0%	